

まちづくり交付金 事後評価シート
下平地区

平成19年12月

栃木県宇都宮市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	下平地区
計画期間	平成16年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成19年度		
モニタリング実施時期	-	事後評価実施時期	平成19年4月～平成19年12月	フォローアップ実施時期	平成20年8月～9月

1) 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	街区公園整備事業, まちづくり活動推進支援, ワークショップによる公園整備計画, 樹木の里親制度			
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(家屋移転4戸増)	2,100百万円	2,195百万円	
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	下栗・平松本町土地区画整理事業(家屋移転3戸減)	270百万円	175百万円	
		宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業	事業増による	事業減による	目標・数値指標への影響等はなし

2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度			達成見込みの有無		効果発現要因 総合所見
	指標1	指標2		モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	
	定住人口の増加		人						農地の宅地化は一部進行したが、既存宅地部分は建て替えが主であり、保留地処分も進まず、人口増加には結びつかなかった。
	消防困難地域の解消		ha						移転補償交渉が思うように進まなかったエリアがあり、結果的に道路整備が地区内を均等に行うことができなかった。
	公園整備による防災機能の充実		ha						ワークショップ等住民参加により公園の整備計画立案を図ったことにより、地区住民の防災への関心が高まった。

3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値			効果発現要因 総合所見
	その他の数値指標1	その他の数値指標2		基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ		
	住宅戸数		戸	2,132	H15		2,558		農地の宅地化により住宅戸数は増加した。また既存老朽賃貸住宅を堅牢な共同住宅への建て替えがあり、防災上の安全性は向上している。
	交通事故件数		件/年	32	H11		17		狭隘道路が解消され、また見通しが良くなることから、すれ違いによる接触、出会い頭の衝突等の事故が減少する。
	緊急車両到達時間(119番受信から現場到着時間)		分/件	6.33	H16		4.91		区画道路が整備されることにより、幅員、面積が広がり、到達時間が短縮される。

4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況
公園整備事業の実施にあたり、住民と協働でワークショップを行ったことで、地域住民のニーズを的確に捉え、施設等の整備内容に反映することができたことから、公園への住民の愛着が深まった。また、幅広い年齢層に利用され、地域コミュニティの向上につながっている。

5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング		予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	予定したが実施しなかった・できなかった	
	住民参加プロセス	公園整備計画についてワークショップ(住民参加)により策定	予定どおり実施できた	予定していなかったが実施した	予定したが実施しなかった・できなかった	引き続き公園愛護会の設立に向け、働きかけていく。
	持続的なまちづくり	公園愛護会の設立 樹木の里親制度の導入	予定どおり構築できた	予定していなかったが構築した	予定したが構築しなかった・できなかった	全ての公園の公園愛護会設立や、さらなる樹木の里親制度への登録に向け、引き続き働きかけていく。

様式2 - 2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

下平地区(栃木県宇都宮市) まちづくり交付金の成果概要				
まちづくりの目標	幹線道路網の整備による交通渋滞の解消と安全性の確保・防災機能の充実、良好な環境の住宅地を主体とした計画的な市街地の形成による定住人口の拡大	まちづくり交付金の代表的成果	公園整備による防災機能の充実(単位:ha)	(-) 26.9ha(H15) 49.2ha(H19)
			住宅戸数(単位:戸)	(-) 2,132戸(H15) 2,558戸(H19)
			交通事故件数(単位:件/年)	(-) 32件/年(H11) 17件/年(H19)
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;">  <p>基幹事業 街区公園整備事業 5箇所 下栗・平松本町土地区画整理事業 45.7ha</p> <p>提案事業 まちづくり活動推進支援 ワークショップによる公園整備計画 樹木の里親制度</p> <p>関連事業 下栗・平松本町土地区画整理事業(道路特会)</p> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 20%;"> <p>基幹事業 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業 48.2ha</p> <p>提案事業 まちづくり活動推進支援</p> <p>関連事業 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(道路特会)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>				
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>住宅地を中心とした安全で快適なまちづくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内は土地区画整理事業が継続中であり、引き続き安全で快適なまちづくりを進める。 ・コミュニティづくり ・樹木の里親制度、公園愛護会や、地元自治会を中心としたまちづくり活動、コミュニティづくりを支援していく。 ・通学路の安全性の向上 ・都市計画道路、区画道路が整備され、狭隘道路が解消されたことから、通学路の安全確保や、不審者対策として地元住民によるパトロールなど安全向上に努める。 ・継続的なまちづくり ・当地区のうち宇都宮大学東南部第1地区については事業途中であり、近接の事業認可となった宇都宮大学東南部第2地区と併せて第2期計画を要望している。第1期計画の経験を生かし、第2期計画につなげていく。計画時に掲げた数値目標を達成したことを布石として、施設利用の促進とまちづくりを進める。 ・達成されなかった指標についての改善策 ・「定住人口の増加」及び「消防困難地域の解消」については原因としては事業の進捗が予定通り進まなかったことによる。建物移転計画の工夫を行い公共施設整備の早期完成を重点に置き事業を進めていく。 			